



IXIL スタイルシェード デッキ固定用部品

取付説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書は『デッキ固定用部品』について説明しています。

本体の取付け方法については、本体取付け部品セットに同梱されております取付け説明書をご確認ください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●必ず『取付け可能な設置条件』をお守りください。

指定範囲を超えての取付けは、本製品の落下・転落や、作動不良の原因となるおそれがあります。

●人工木用の場合、デッキ板厚・中空層厚・幅が『取付け可能な設置条件』の範囲内に入っていることを確認してから取付けてください。

●デッキフックは、引き抜き強度 300N 以上を保持できる所へ取付けてください。デッキフックが取付け面から外れ、人や物にあたりケガをするおそれがあります。

●デッキフックをねじで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

●生地を収納する場合は、必ず垂直の状態に戻してから操作してください。斜めの状態で操作をすると、ボトムバーが障子にあたってガラスが割れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■取付け上へのお願い

●ボトムバーが水平になるようにデッキフックを取付けてください。

水平になっていないと生地の巻乱れが生じ、生地の消耗につながります。

●生地を本体から引き出す（収納する）場合は、必ず垂直の状態にして行ってください。

生地の巻乱れや消耗につながります。

●リング取付け後、ボトムバーキャップは確実に元のねじで固定してください。

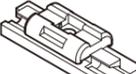
●デッキフックの取付け相手によって使用するねじを使い分けてください。

●生地は生地H 以上引き出さないでください。故障、破損、巻乱れなどの原因になります。(表1)

表1

本体Hmm	生地Hmm
1,210	1,180
2,110	2,080
3,030	3,000

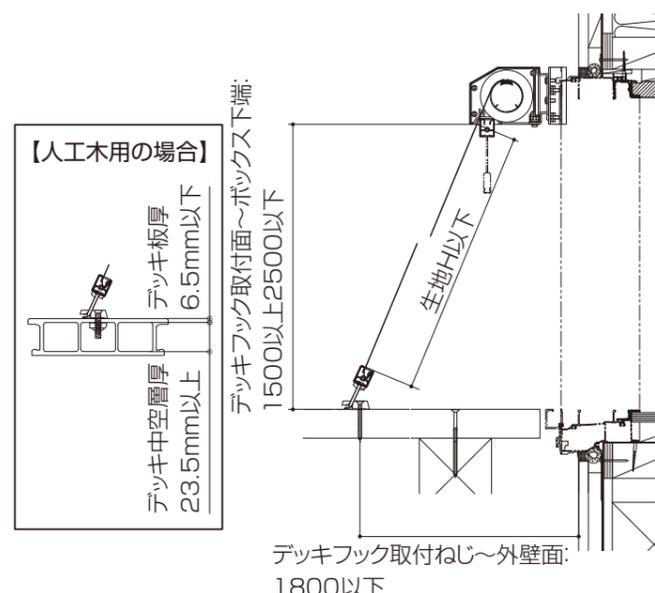
■部品・ねじ一覧表 (□には部品色記号が入ります)

□-02-HAAR(天然木用) / □-03-HAAR(人工木用) / □-04-HAAR(土間コンクリート用) / □-L102-PTNA(タイルデッキ用)					
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
 デッキフック金具A/2個	 デッキフック金具B/2個	 スペーサー/2個 ※タイルデッキ用: 6個	 デッキフックカバー/2個	 リング/2個	 リング台座/2個
※天然木用  皿タッピンねじ1種 φ5×50/4本	※人工木用  皿小ねじM6×35/4本	※人工木用  ターンナット(M6)/4個	※土間コンクリート用  セルフタッパアンカー φ5×45/4本	※タイルデッキ用  皿小ねじM5×40/4本	 取付け説明書

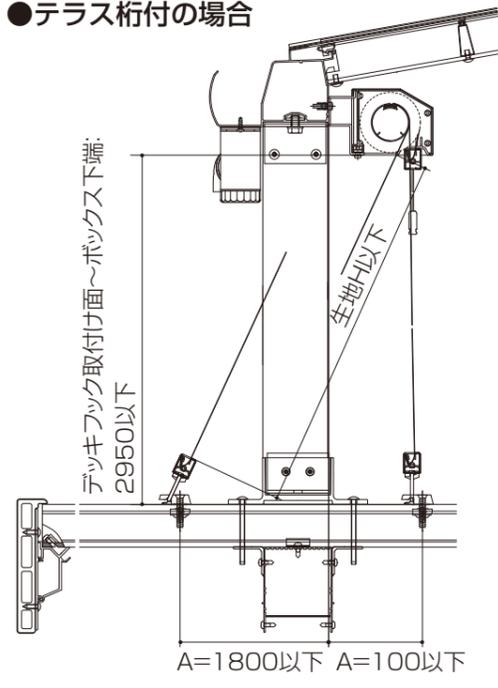
■取付け可能な設置条件

●単体 半外付・外付型の場合

(断面は半外付型です)

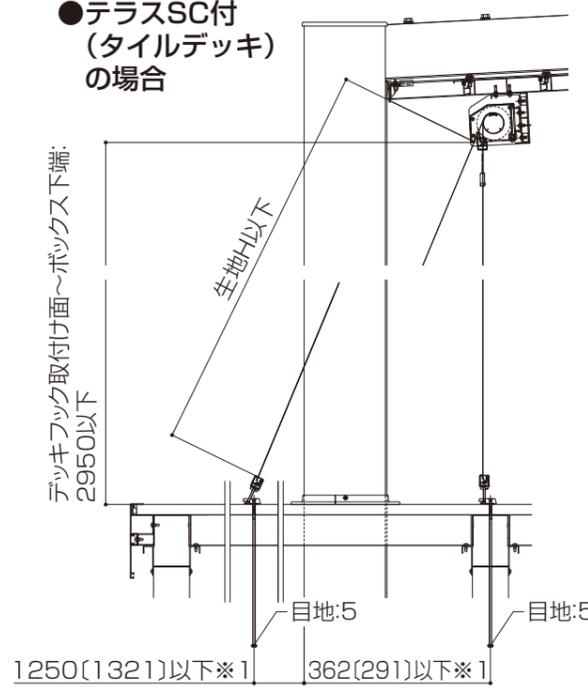


●テラス桁付の場合



※Aは、デッキフック取付けねじ～ブラケット取付け面を示す。

●テラスSC付 (タイルデッキ) の場合

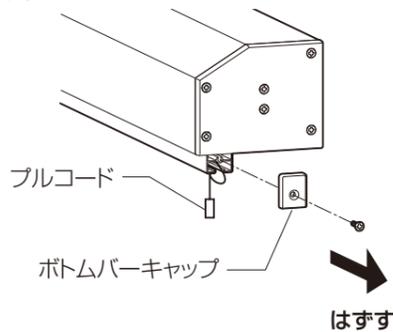


※本図は後枠に最も近い屋根材へ取付けた例を示す。
※1:()は壁付タイプ テラスタイプを示す。

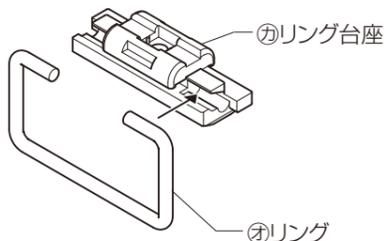
■取付け順序

1 リングの取付け

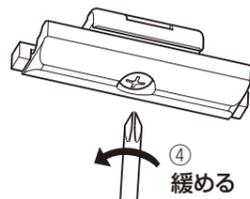
- ①ボトムバーキャップを外します。
- ②プルコードを外します。



- ③リング台座にリングを固定します。

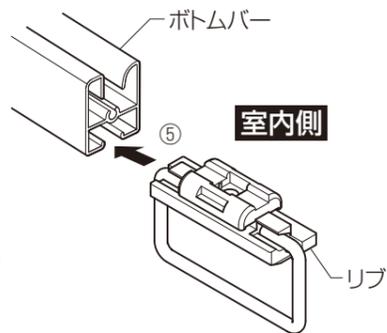


- ④リング台座のねじを緩めます。

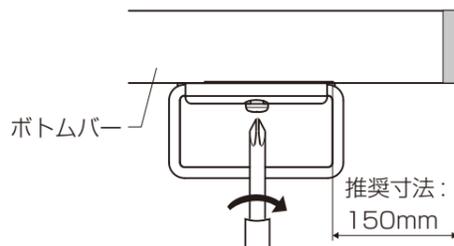


- ⑤リング台座→プルコード→リング台座の順でボトムバーに差込み、ねじを締め付けて固定します。

※リング台座は、リブが室内側になるように差し込みます。
 ※リング台座固定位置にデッキフックが止められるかを確認してください。障害物などにより、推奨位置に止められない場合は、除けて取付けてください。



- ⑥ボトムバーキャップを元のようにねじで固定してください。

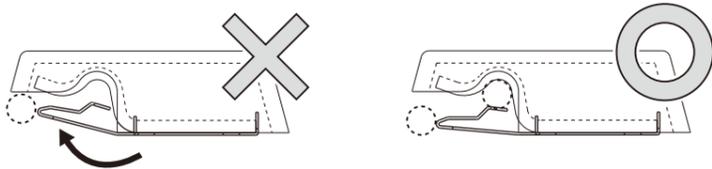


2 デッキフックの取付け

- ①ボトムバーのリングの位置に合わせて、デッキフックの取付け位置を決定します。
- ②デッキフックを取付けます。

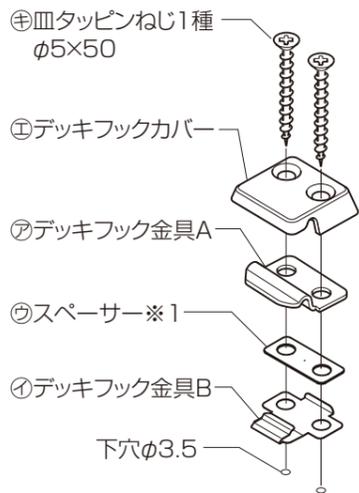
お願い

※固定ねじは 1.5N・m ~ 2.0N・m のトルクで止めてください。強く締めすぎると部品が変形してリングの挿入が固くなる場合がありますため、最後は手締めしてください。



【天然木の場合】

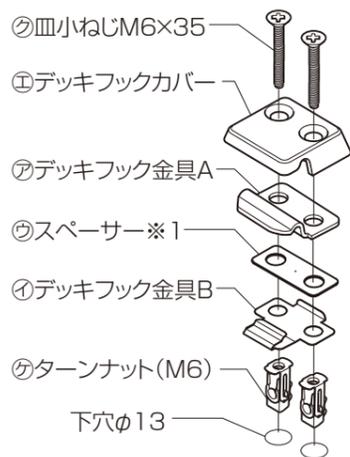
φ 3.5 の下穴をあけ、皿タッピンねじ 1 種でデッキフックを固定します。



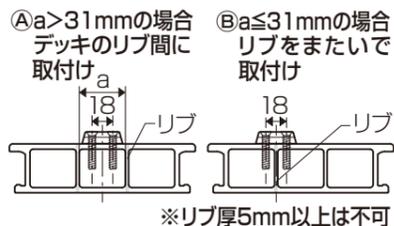
【人工木の場合】

φ 13 の下穴をあけ、ターンナット (M6) をはめ込み、皿小ねじでデッキフックを固定します。

※必ずφ13のドリルを使用してください。
 下穴が小さいとターンナットが破損する場合があります。



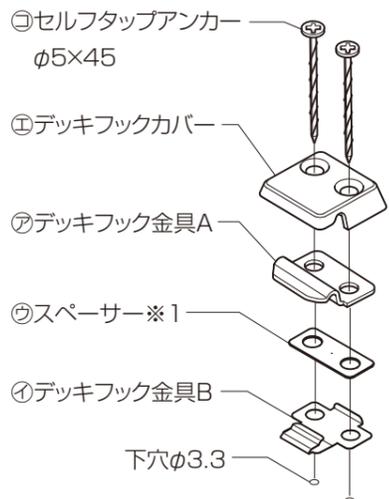
※人工木の断面寸法をご確認の上、下図の位置で穴あけをし固定してください。



※ターンナットは必ず、図の向きで挿入してください。ナットが回転せず、固定できなくなります。

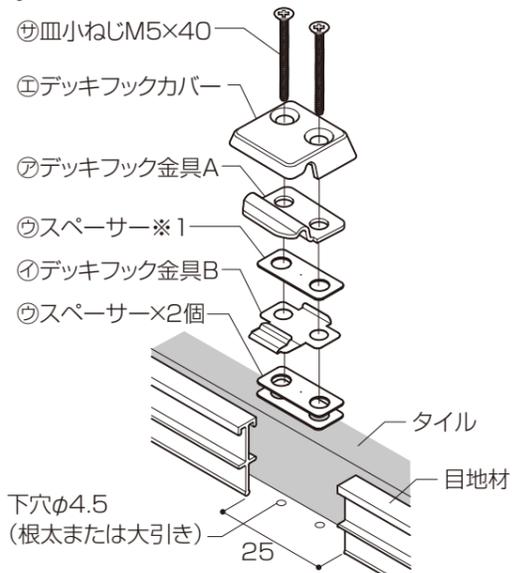
【土間コンクリートの場合】

φ 3.3 の下穴をあけ、セルフタッパアンカーでデッキフックを固定します。



【タイルデッキの場合】

目地材を切詰め、φ 4.5 の下穴をあけ、皿小ねじでデッキフックを固定します。

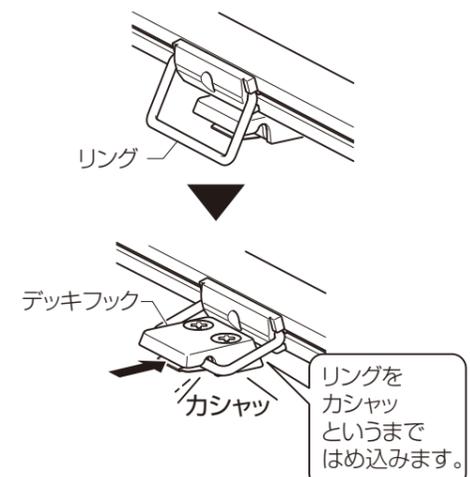


3 操作の確認

ボトムバーのリングがデッキフックにきちんと取付くか確認してください。

[取付け]

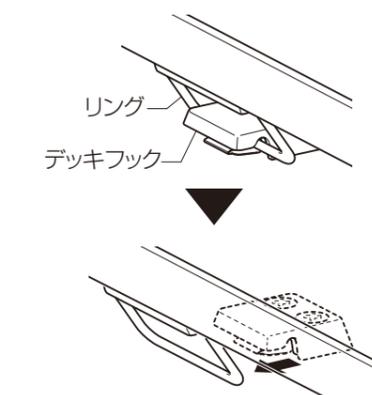
- ①デッキフックにボトムバーのリングを引っ掛けます。



リングを地面に対して水平にして、押込むように挿入する。

[取外し]

- ①リングを片側ずつ外します。



※ 1 ⑨スペーサーはリングの挿入が固い場合に使用してください。